

平成 24 年度佐久市図書館協議会 会議録

日時 平成 25 年 3 月 22 日(金)

午後 3 時 30 分～午後 4 時 45 分

場所 野沢会館 視聴覚室

委員出席人数 6 名出席(欠席 4 名)

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項 (事務局説明、質疑、意見等要約)

(1) 平成 25 年度佐久市立図書館事業計画(案)について

・平成 25 年度の事業計画事務局より説明

会 長： 平成 25 年度の事業計画案が説明されましたがご質問があれば出していただきたいと思います。

委 員： 新聞記事で、ある市でアンケート調査した時に、図書館を利用しない人が 7 割いたとあった。佐久市の図書館では、図書館に対する意識調査などはやっているか？

事務局： アンケート調査はやっておりません。

委 員： 例えば『地域住民のニーズを満たす情報』とあるが、そのニーズをどういった形で吸い上げようとしているか？

事務局： 各図書館にご意見ご要望箱を設置して、ご希望ご意見等をお受けする形にはしてあります。

委 員： データとして具体的には出ているのか？

事務局： データとしては出していませんが、その都度対応しております。

委 員： 図書館に来ない人の意見等をくみ取ることを積極的にやらないと、図書館の存在意義がなくなってしまう。図書館として存在意義を明確にしていくにはよほど意識的に具体的に取り組みをしていかなければならないと思う。例えば年齢別利用者のデータはあるか？

事務局： 貸出の部分では年齢別のデータは出ます。

委員： 佐久市においてどの年代層が利用していて、どの年代層が関心がないかというデータは重要。数字からどのような問題があるのかを出さないと、地域住民のニーズを満たす事につながっていかないと思う。

事務局： 図書館を利用していない人のニーズ等分析出来ればと考えております。また、移動図書館車についても、今後、旧臼田・浅科・望月地区について増やせないかと考えております。

委員： 『職員の専門性の向上』とあるが、重要であり難しい問題だと思う。都会の書店では「ブックコンシェルジュ」という専門分野を完璧に対応できる店員さんがいる。図書館においても、旧態依然とした「司書」ではなく、情報を取得するという立場の職員を採用していく時代でないと対応できないのではないかと？

事務局： 職員の専門性を低下させないよう、研修に参加していきたいと考えております。

委員： 図書館に本を並べれば、誰かが来て、借りてくれるだろうという図書館のあり方はもう古いと思う。

音訳図書の充実を期待してきたが、今は音訳図書も PC でダウンロードできる時代なので、佐久市でも 5 館中 1 館でも専門に行く館があってもよいのではないかと？

読字困難な児童や病気で本を読むことが困難になった方等に、教科書や本を生の声で読んであげるような、やさしい図書館のあり方が望まれる。サングリモ中込図書館が良いのではないかと？

音読者養成講座をやっているが、講座を受けた方がその後活動をされていないのはもったいないと思う。

事務局： 情報交換ができるよう講座参加者の了解を得て参加者の住所リストを配布するようにしました。また、活動している 2 つのグループのリーフレットも配布させていただきました。微力ですが図書館として少しずつネットワーク化が出来ればと思っております。

委員： 例えば「声の草笛号」として病院や施設へ行って希望の本を読ん

であげるといような活動もあると思う。

音読者養成講座の講師についても、いつも同じ講師の方ではなく、視点を変えて違う形の講演会をやっても良いのではないか？

委員： 他の市町村との図書館ネットワーク化をお願いしたい。

事務局： 佐久地域 11 市町村でネットワーク化が出来ないかと協議してきましたが、それぞれの市町村の事情もあり、なかなか賛同できていない状況です。佐久市としては今後も引き続き協議していきたいと考えております。

委員： 上田市の「図書館クラブ」のような運営体制は、佐久市では出来ないのか？

事務局： 図書館では色々なボランティアが必要だと思っております。どういう体制が良いのか、構成途中という段階です。

委員： 図書館で講演会をやれば、町おこしにもなるという新聞記事もあったので、是非佐久市でもやってもらいたい。

事務局： 規模は小さくても、色々な分野で年に数回出来ればと考えております。

委員： 我々の日常生活は 24 時間、起きている人もいれば寝ている人もいる。図書館の情報もデータ化するなりして 24 時間開放する等しないとどうしようもないと思う。図書館の HP を見た時に、何かおもしろい情報があれば、わざわざ図書館に行かなくても図書館とつながっていられるというメリットがある。24 時間開放すれば潜在的な利用者はいると思う。

委員： 今は新刊が出て、予約して、2 週間貸出しということだが、例えば貸出用 iPad があって、ダウンロードして貸出してもらえれば待たなくて済む。その位までやらないと時代に合わない感じがする。新しいことを先んじてやる図書館であって欲しい。

終了： 16 時 45 分